



よく生きよ

大仙市立大曲中学校
1年学年通信 No. 56
令和2年2月14日

大曲地域を知る 発表会から学ぶ

先週に引き続き、大曲地域について調べたレポートの発表会からいろいろなことを学ぶことができました。

2回に分けて、各クラスの代表が学んだこと、考えたことを紹介します。

1組 藤原大和さん

今回の発表会を通して思ったことは、話し手の工夫一つでその発表の印象が大きく変わるということです。また、質問があまりないというのは課題だと思いました。今後、発表会をもっとよくするには聞き手は話し手のことを、話し手は聞き手のことをよく考えるということを一一人意識することが一つの方法だと思います。そうすることで、お互いにより発表にしようがんばることができます。質問を最低でも1つや2つはしないと発表した人が残念な気持ちになるので、自分が聞き手のときは質問をできるように心がけたいです。次の自分の発表のときは今回学んだこと(工夫)を生かしてよい発表にできるようにがんばりたいです。

2組 千尋若葉さん

私の課題は「なぜ大曲の花火は”春の章”，”秋の章”，”冬の章”を取り入れるのか？」というものでした。私は花火は夏というイメージが強く、ずっと、花火は夏しかやっていないと思っていました。でも、この間、”秋の章”をさじき席で見に行きました。とても感動したのと、花火師さんの努力がとても伝わってきました。でも”秋の章”だったのはなぜだろう？と疑問に思い、課題にしました。はなび・アムや響屋さんへ行って、聞いた話をくわしくまとめることができました。でも、今回、学年の発表で来てくれた5人は、もっと詳しく書いていて、発表も分かりやすく、びっくりしました。私のレポートももっと工夫してみたくまりました。また機会があったら参考にしたいです。

3組 佐藤ひなたさん

たくさんの方が課題にそったことを調べて書いていたのでよかったです。自分では調べきれなかった細かいことをレポートに書いたり、話したりしていた人がいて、私も初めて知ることがたくさんありました。私は花火について調べましたが、農業や人口減少などの違うテーマを調べている人もたくさんいました。それらは普段、聞かないような内容ばかりだったので、とても勉強になりました。日常でも、インターネットや本で調べたり、実際にその場所に行ってみたりして、もっと細かいところまでたくさん調べたいです。

4組 田口愛光さん

人によってまとめ方が異なっていて、いろいろな面から知ることができました。自分が課題を立てるときに、まったく頭に無かった内容のものがあって面白かったです。一人一人、課題の内容にそって細かい部部まで分かりやすくまとめていてよかったです。たくさんの方が課題にそったことを調べて書いていたのでよかったです。大仙市に自分がどうやったら貢献できるのか、今、自分は何をすればよいかなど、深いところまでしっかりまとまっています。大仙市の人口が減っていて、今、どのような取り組みをしているのか興味があったので、もっと調べてみたいです。大曲には私たちがまだ知らないことがたくさんあるんだなあと思いました。

5組 佐々木惇矢さん

今回の発表を通して、大曲の魅力や歴史、大曲の知られていないところなどをたくさん知ることができました。特に僕が訪問したような施設以外にも大曲の歴史に関する建造物や歴史的な物がたくさんあったため、県外の方などにアピールできると感じました。僕が訪問した施設でも自分と見たところや興味をもったところが違ったりしたので、僕の意見と照らし合わせたりできました。これから僕が新たに行きたい場所などもあったので、プライベートな時間を利用して行ってみたいと思います。

6組 細谷理人さん

発表会全体を通して、僕は、大曲の花火のことはもちろん、観光のこと、災害が起きてしまったときのこと、大曲の人口のこと、大曲の自然のこと、大曲の文化のことなど、大曲の魅力についてたくさん知ることができました。また、それだけではなく、話すときの目線や声の大きさ、間の取り方、文章の上手な作り方なども知ることができたので、とても楽しかったです。文章の内容も十人十色で今回の発表を通して、大曲の魅力や歴史、大曲の知られていないところなどをたくさん知ることができました。特に僕が訪問したような施設以外にも大曲の歴史に関する建造物や歴史的な物がたくさん

人によってまとめ方が異なっていて、いろいろな面から知ることができました。自分が課題を立てるときに、まったく頭に無かった内容のものがあって面白かったです。一人一人、課題の内容にそって細かい部部まで分かりやすくまとめていてよかったです。たくさんの方が課題にそったことを調べて書いていたのでよかったです。大仙市に自分がどうやったら貢献できるのか、今、自分は何をすればよいかなど、深いところまでしっかりまとまっています。大仙市の人口が減っていて、今、どのような取り組みをしているのか興味があったので、もっと調べてみたいです。大曲には私たちがまだ知らないことがたくさんあるんだなあと思いました。

減少が

自分では調べきれなかった

は「なぜ大曲の花火は”春の章”、”秋の章”、”冬の章”を取り入れるのか？」というもので

あむで

”” 今回の発表会を通して思ったことは、話し手の工夫一つでその発表の印象が大きく変わるということです。また、質問があまりないというのは課題だと思いました。今後、発表会をもっとよくするには聞き

発表を繰り返した成果を生かし、声の大きさや表現の仕方を工夫して、聴衆をひきつける発表になっていました。

来年度は今回の学習を土台にして、「大曲地域に生きる」、「大曲地域を生かす」という視点で学習を深めていきたいと思います。